

リチウムイオン電池などの 小型充電式電池の収集を

鎌倉市

令和7年4月1日からスタートします!

リサイクルマークがある小型充電式電池は、引き続き、販売店などの回収ボックスを利用できます。

対象品目

※対象品目以外は収集できません。

- ・リチウムイオン電池
- ・ニカド電池
- ・ニッケル水素電池
- ・モバイルバッテリー
- ・ハンディファン(小型携帯扇風機)
- ・ワイヤレスイヤホン
- ・加熱式たばこ本体
- ・電動歯ブラシ
- ・電気シェーバー
- ・スマートウォッチ
- ・スマートフォン
- ・ガラケーの電池
- ・ボタン電池(一次電池)

【対象品目例】



※原則、製品から電池類を取り出して排出して下さい。

※製品から電池を取り外せない場合のみ、そのまま排出することができます。

排出日

危険・有害ごみ(月1回)

※透明又は半透明の袋にまとめて排出して下さい。

適正排出のお願い

詳細はこちらから



リチウムイオン電池などの
収集について

小型充電式電池(リチウムイオン電池など)が原因となった火災が全国で多発しています。事故の未然防止のため、適正排出にご協力をお願いします。



お問い合わせ：鎌倉市環境部ごみ減量対策課 電話：0467-61-3396

◆火災が多発して問題に!

近年、家庭ごみに混入した小型充電式電池(リチウムイオン電池など)が原因となった火災が、全国で多発しています。本市でも、令和3年度に容器包装プラスチックにリチウムイオン電池が混入し、再生処理事業者の施設で発火する事故がありました。

◆鎌倉市議会議員長嶋竜弘

第192号5期目6号(8月号)(完全無所属)



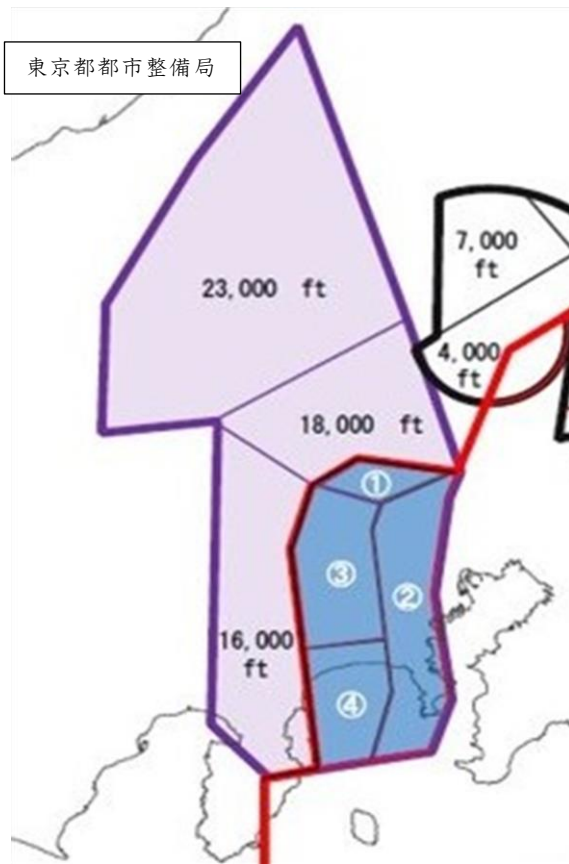
YouTube 配信分

長嶋が毎週水曜 21時からやっている生配信番組。Facebook、X、長嶋ニフティ Blog から自動配信中!

◆鎌倉市の空は全域横田空域

地域にもよりますが、最近航空機の音が非常にうるさいですね。夜中でもおかまいなしに飛んでいます。なぜこんな状況なのか?

鎌倉上空は全域横田空域なので、8000 フィートまでは米軍の許可が無いと一般航空機は飛べない。大半が米軍か自衛隊関連の航空機。



※横田空域について

(市民防災部長答弁)

横田空域ですけれども、米軍横田飛行場をはじめ、自衛隊厚木飛行場、入間飛行場を利用する航空機の管制業務を行う米軍が管理する空域であり、鎌倉市の上空も含まれております。災害時であっても、横田空域の飛行は3,000 フィート、約900メートル以下の高度であれば海上自衛隊の、それ以上の高度の場合には米軍の承認が必要であり、自由な飛行は制限されています。

←②が鎌倉上空

※Blogに詳細説明あり



(2023/04/17blog)

◆7月30日の津波避難の状況

☞長嶋は朝大船駅東口で8時半過ぎまで駅頭

☞8時45分頃地震の一報をラジオで聞く

→SNSで即情報発信

☞車で市役所本庁舎に向かう。

☞9時過ぎ中沢議長に一報を入れる。

☞市役所側の対応が緩慢だったので、各部長、次長を捕まえて対応を迫る。

☞津波警報が携帯に流れる(9時40分)

→中沢議長の判断で議場はじめ議会棟を全て開放

☞程なくして帰宅困難者が殺到 →本庁舎で約1000人受入

☞帰宅困難者の移動が落ち着いた所、水、クッキー、オムツなどが配られる。

☞津波情報、交通情報などの案内が無く、市役所側に対応を何度も求める。

☞大船駅から横浜方面の電車が動き出す。

☞モノレールが動いていたので市役所の車両でピストン輸送をはじめ。

☞帰る事ができない方は避難所への誘導を行う。

☞21時半ごろには横須賀線が運行再開。



←長嶋
作成の
地震情
報リンク
集



↑全国でもまれな議場解放



↑モノレール深沢駅までピストン輸送



↑ロビー/廊下/委員会室も人で溢れる



↑水、クッキー、おむつを配布

◆災害時深沢新庁舎が司令塔では対応困難

今回の津波警報の対応は、市長提案の災害時深沢庁舎が司令塔では無理がある事が良くわかったと思います。

① 帰宅困難者の対応が困難

市内帰宅困難者は鎌倉駅周辺・江ノ電沿線観光客と店舗従業員が多い。

→深沢新庁舎に8割の職員を移すと言っているのでもうすると対応は困難。

→消防本部を深沢に移転したら大船地域の対応に問題が出てくる。

② 激しい渋滞で身動きが取れなくなる…緊急車両・職員の移動が困難

7月30日夕方にかけて、深沢地域から大船駅方面は大渋滞だった。

→津波被害が実際におきた場合134号線など沿岸部は通行出来なくなる。

→避難や家族お迎えなどの車が大船駅や藤沢駅に近い内陸部に集中。

→救助・救援活動、ボランティア、報道関係、野次馬の車両は殺到する。

→災害時公安による交通規制がかけられる「緊急交通路指定想定路」が通っていない深沢地域では対応が困難に陥る。

※緊急交通路指定想定路とは？

災害対応の緊急車両を通す為に「交通規制」「道路啓開」を実施する道路。

→物資を迅速に運ぶ為に「第一次緊急輸送道路」も同様に指定している。

→鎌倉での指定は134号線と鎌倉街道

③ 初期対応…ハード整備の前に先に必要な事が出来ていない

初期対応が出来ておらず、中沢議長と私で文句を言った→第1回災害対策会議が9時40分だった→会議などやっている場合では無く、初期対応は市長判断でやる必要がある→中沢議長が迅速に議場を開放して帰宅困難者を受け入れしていなければ混乱していた。

・初期対応の市長判断は会議後では遅い。

・海水浴場のお客様をまず急いで誘導するべきだが対応していなかった。

・市役所HP掲載などの市からの情報発信がされていなかった。

・職員の対応教育が出来ていない。

・指揮命令系統がきちんとしておらず誰が何をやっているか不明。

・JR鎌倉駅・バス事業他交通事業者と連携が取れているようにみえなかった



←7月30日津波警報発令の1日まとめblog。



←毎週水曜21時から長嶋がやっている生配信番組「暴露TV」で「カムチャッカ半島沖地震特番放送」